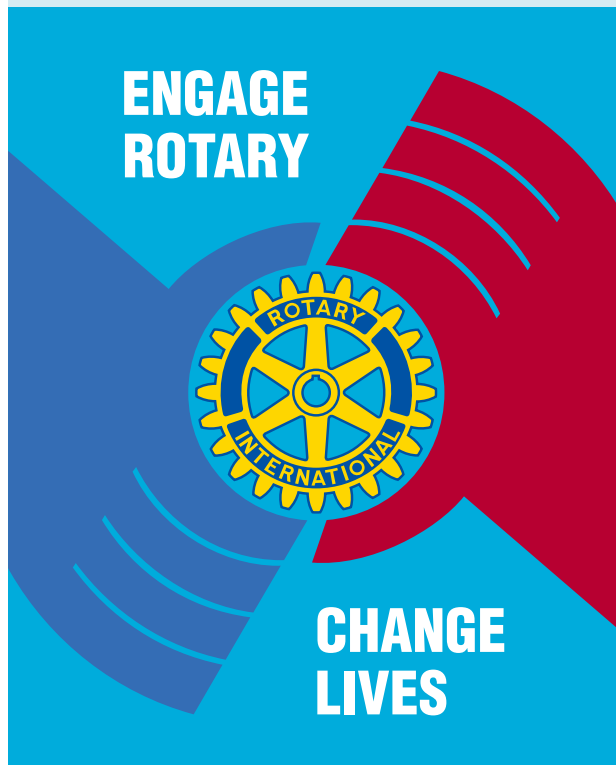


2013 – 2014
November
vol. 5

11



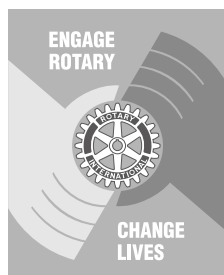
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信11月号

国際ロータリー 第2660地区
2013–2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

November vol.5

CONTENTS

ガバナーメッセージ（ロータリー財団月間／世界インターアクト週間）	1
ロータリー財団月間によせて	3
世界インターアクト週間にあたって	6
青少年交換委員会 来日学生一泊研修	7
ガバナー補佐からのメッセージ	8
我がクラブの目指すところ（IM第2組）	9
ガバナー・ノミネー指名宣言	14
災害支援プロジェクト報告（第29回）	15
地区米山奨学委員会より	18
米山奨学委員会／ロータリー財団	18
2013年9月度 会員数・出席報告	19
文庫通信	20
敬弔／お知らせ	21

ロータリー財団月間 世界インターアクト週間

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



ロータリー財団月間

2010年7月から有効となったRI戦略計画は、RIとロータリー財団それぞれが進むべき道が一致するように練り上げられたものです。そのうちロータリー財団が実施した大きな変革がFVP「未来の夢計画」であります。3年間のパイロット期間を経て、いよいよ今年度から全世界でFVP「未来の夢計画」が始まりました。今年2月には皆様に補助金管理セミナーを受けて頂き、クラブと地区の間でMOU(覚書)を交わしました。そして昨年度は地区補助金の計画年度でありましたが当地区内では44クラブが地区補助金の申請をされ、これを地区がロータリー財団に対して一括申請を行いました。この申請は承認され7月には補助金が地区に届きました。またグローバル補助金には8件の申請があって、4件もの申請がロータリー財団から承認を受けております。私は今年度の地区方針と共に、5つの目標をお示し致しましたが、そのうちの一つがFVPの成功であります。我が地区は初年度から「成功」が確信出来る状況となっております。これは地区内クラブ様の熱心なお取り組みと、地区ロータリー財団委員会補助金部門の皆様、献身的なご努力の賜物であると、私は感謝致しております。

ここでロータリアンの寄付とDDF: District Designated Fund(地区財団活動資金)について私の考えを述べさせていただきます。先ず私たちの年次基金寄付や恒久基金は、ロータリー財団の組織やプログラムを根幹から支えているものであります。これまでにロータリー財団はどんな業績を残して来たでしょうか?最初の事業は国際親善奨学生派遣です。1956年から1966年の間に、研究グループ交換、技術研修奨学金、活動補助金(後のマッチング・グラント)の3つの新しいプログラムが開始されました。1978年には保健、飢餓追放、人間性尊重(3-H)補助金プログラム、1984-85年度にはポリオ・プラスの設置が発表され、その翌年、大学教員のためのロータリー補助金が設けられました。1987-88年度には初の平和フォーラムが開催され、こ

れが後になって財団の平和および紛争解決研究プログラムの創設を現実のものとなりました。

例えば3Hプログラムはフィリピンで200万人の子供たちへのポリオ・生ワクチン接種を成功させましたが、これは単なる1例であり、上述した素晴らしいロータリー財団の各種プログラムは到底一つのクラブだけの寄付金や活動では成し得るものではありません。全世界のロータリアンが寄付金を拠出しているからこそロータリー財団は活動し続けることが出来るのです。

年次基金や恒久基金への寄付金は3年間留保ののち、私たちのロータリー財団活動の原資として年次基金の50%、恒久基金利息の50%をDDFとして利用することが出来ます。そして今年度からDDFの最大50%までが、地区補助金として利用可能となりました。グローバル補助金の場合も、これまでのマッチング・グラントと同様にDDFを利用出来るだけでは無く、クラブ拠出金の半分およびDDFと同額のWorld Fund(国際財団活動資金)をさらに付加してもらえるわけです。だから1クラブでは到底取り組むことの出来ないプロジェクトが実現可能となるわけです。

ロータリー財団を理解し、プログラムを実践するロータリアンを中心に財団への支援は飛躍的に増えていきました。現在までに、100万人以上がポール・ハリス・フェローとして認定されています。ポール・ハリス・フェローとは、年次プログラム基金に1,000ドルを寄付した個人、またはその名義で寄付が行われた人に与えられる称号です。ロータリー財団の未来が確かなものとなり、今後も国際理解と世界平和の実現に必要な活動を続けていくことができるのは、こうした力強い支援と世界中のロータリアンによる積極的な参加のおかげなのです。

ロータリー財団月間

ロータリー・ジャパンの解説を引用しますと、インターアクトクラブ(Interact Club、IAC)とは、奉仕と国際理解に貢献する青少年のための、ロータリー

クラブ(RC)提唱の世界的団体で、高校に在学中の生徒、または年齢12~18歳までの青少年が入会できます。Interact という名は「国際的活動」International Actionを意味します(2010年1月の国際ロータリー理事会で、インターアクターの会員資格の最低年齢が14歳から12歳へ引き下げられることが決定しました)。

1959-60年度の国際ロータリー(RI)会長・ハロルド・トーマスは、世界各地のロータリアンが共通して「ロータリーは青少年奉仕を開発する力を、十分に発揮していない」という気持ちを抱いていることに気づきました。そうした中で、世界中の青少年が共に活動できるような組織をつくろう、という機運はますます高まり、トーマスRI会長は1960年、5人のロータリアンからなる委員会を発足させました。2年後の1962年、RI理事会により、インターアクトプログラムが宣言され、この年、理事会は初めてのIACの発足を認証しました。世界最初のIACは、アメリカ・フロリダ州メルボルンRCの提唱により10月28日に結成、23人でスタートしたメルボルン高校IACです。その後、IACは次々と広がっていき、現在では、世界各地で、青少年がさまざまなインターアクト活動を通じ、国際理解と親睦の輪を広げています。

さて当地区のインターアクト・クラブですが過去に

は大阪RCが大阪市立東中学校を、大阪南西RCが大阪教育大学附属平野中学・高等学校および四天王寺羽曳が丘中学・高等学校を、大阪阿倍野RCが大谷中学・高等学校を、大阪城南RCが明浄学院高等学校を提唱しておりました。現在は表の通りです。

提唱クラブ	インターアクトクラブ	設立年月日
大阪南	清風学園中学・高等学校	1975年 9月25日
大 東	大阪桐蔭中学・高等学校	1976年 7月 8日
大阪帝塚山	浪速中学校・高等学校	1982年 5月 5日
大阪天王寺	四天王寺高等学校・中学校	1982年 3月28日
八 尾	金光八尾中学・高等学校	2002年11月 5日
大 阪	相愛中学校・高等学校	2003年 9月 5日

当地区内には83のRCがありますが、提唱クラブは6クラブに過ぎません。

世界のインターアクターは次第に増えて32万人を超えている現状からすると、いささか淋しい感じが致します。地区内のどこかのクラブが、提唱クラブとして手を挙げて頂けることを念願せずにはおれません。

インターアクターは、将来的にはローターアクターに、そして更にはロータリアンになって頂きたいという思いもあります。インターアクト週間を機会に、一度皆様には、当地区のインターアクトについてクラブの中で協議の時間をお持ち頂ければ幸いです。

ロータリー財団月間によせて 今こそ財団を学ぶ時

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信 (東大阪東RC)



今月はロータリー財団月間です。ロータリー財団月間である11月に、財団に焦点を当てた卓話やプログラムを是非行なって頂きたいと思います。

*本年度の財団目標

李 東建 (D.K.Lee) 2013-14年度ロータリー財団管理委員長は財団目標を、

1. ポリオを撲滅し、ポリオのない世界という夢をかたちにする。
2. 新しい補助金モデルの導入を成功させ、画期的な未来の夢計画を全世界で実施する。
3. より公平で平和な世界を築くため、革新的なプロジェクトと創造的なパートナーシップに参加する。
4. 年次基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金を支援して、ロータリー財団が自分たちの財団であるという自覚と誇りを築く。

としています。

*ポリオ撲滅に関して、

私たちが知っておくべきことはなんですか？

1988年から始まった世界ポリオ撲滅推進計画 (GPEI) は、過去に類を見ない大規模な国際的協力に基づく公衆衛生プロジェクトで、2011年に650件だったポリオの発症が2012年には223件に減少しています。

ロータリーとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、リスボンで開催されたロータリー国際大会において、ポリオ撲滅活動を支援するパートナーシップの拡大を発表しました。この新しいパートナーシップでは、2018年までの5年間、ロータリーがポリオ撲滅に寄せる寄付に対して、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せすることとなります (年間3,500万ドルまで)。

この「End Polio Now - Make History Today」と呼ばれる協同活動は、世界保健機関 (WHO)、ユニセフ、アメリカ疾病対策センター、ゲイツ財団、RI が2018年までにポリオウイルスを一掃するための、2913~18年ポリオ撲滅ならびに終盤戦に向けての戦略計画のため

に55億ドルをあつめるための一環として行われるものです。

今年の世界のポリオ発生件数は、2013年10月1日現在、287件です。(昨年の同時期は154件、1年間の総発生件数は223件でした。)

内訳はナイジェリア49件 (90)、パキスタン36件 (40)、アフガニスタン6件 (19)、チャド (5)、エチオピア4件 (0)、サウススーダン3件 (0)、ケニア14件 (0)、ソマリア175件 (0)、ニジェール (1) です。

[流行国91 (149)、非流行国196 (5)]

()内は昨年同時期の発生数。

25年間にわたる努力が実り、ロータリーと協同団体は、ポリオの撲滅にあと一步というところまでたどり着きました。しかし、完全な撲滅を果たすには、今、すべての力を振り絞らなければなりません。ポリオ撲滅のために一層のご協力をお願い致します。

*「未来の夢計画」とは何であり、 クラブにとって何を意味しますか？

2013-14年度から、未来の夢計画が世界中で導入されました。長い間、国際親善奨学生に代表される教育的プログラムがその主流でしたが、次第に人道的支援がロータリー財団の主流になってきました。

1965年から2000年までの35年間で1万件であったマッチング・グラントは、2000年から2004年の4年間で1万件を超えました。この人道的分野でのマッチング・グラントの爆発的成長は、ロータリー財団が取り組むべき問題点を浮き彫りにし、その長い歴史の中で最も革新的な変革「未来の夢計画」誕生の、一つの要因となりました。

少額プロジェクトの増加は、補助金を上回る経費とともに膨大な事務量を生じ、あふれる書類に、人的対応が追いつかなくなったのです。さらに、小さなプロジェクトでは、せつかくの奉仕も持続的効果が望めないなど、多くの問題点が指摘されました。

そこでロータリー財団は「Future Vision Plan-----未

来の夢計画」委員会を発足させ、ロータリー財団100周年(2017年)を迎えた時、財団がいかにあるべきか、の検討を始めました。そのコンセプトは、●プログラムと運営の簡素化●ロータリー財団が自分たちの財団であることを自覚し、身近な存在とすること●世界的目標と地元の目標の両方を果たすための資金を提供することなど、「素晴らしい財団」とするための骨格を決めました。クラブと地区は、地区補助金とグローバル補助金の2種類の補助金制度を通じて、地元や海外での奉仕活動のような人道的プロジェクト、また奨学金や職業研修チームなどの教育的プロジェクトを実施することができます。またパッケージ・グラントでは、ロータリー財団が選んだ戦略パートナー(協力組織)との提携の下に、地区とクラブが活動に当たり、資金は全額、WF(国際財団活動資金)および協力組織から提供されるものです。

***新しい補助金制度とは、どのようなものですか？**

1. 地区補助金は、財団の使命を支える教育的および人道的活動(職業研修チーム、奨学金、人道的奉仕プロジェクト、文化交流を含む)を対象とし、毎年一括でDDFの50%を各クラブに配分されます。比較的規模の小さい活動やプロジェクト向きで、地元と海外いずれの活動にも使用され、幅広い指針の下、地区に裁量権が与えられています。
2. グローバル補助金は、グローバル補助金として使用できるDDFの最大額は、3年前の年次基金の25%+恒久基金の運用益の25%+前年度からの繰越金で、対象は6つの重点分野に属し、持続的で測定可能なプロジェクトに対し、総額、最低3万ドル以上の大規模プロジェクト向き、クラブ拠出金+地区の補助金+財団の補助金(15,000ドル以上)のものです。
3. パッケージ・グラントは、ロータリー財団が選んだ戦略パートナー(協力組織)との提携の下に、地区とクラブが活動に当たります。資金は全額、WF(国際財団活動資金)および協力組織から提供されるも

ので、グローバル補助金と類似し、重点分野に関連するプロジェクトや活動(奨学金、人道的プロジェクト、職業研修)を実施するためのもので、現在、アガ・カーン大学、マーシー・シップ、ユネスコ水教育研究所の3つ戦略パートナーとのパッケージ・グラントが提供されています。

【日本のグローバル補助金・奨学生の承認された件数】

9月1日の時点で、今年度の日本のGG奨学生は20人です。これは、アメリカ全体の30人に次いで2番目で、全世界では25%です。受入れが一番多かった国は、イギリスの32人です。

<世界の補助金申請状況>

9月16日現在

申請	地区補助金	グローバル補助金	パッケージ・グラント
申請書作成中	285	4,490	676
承認済	169	137	16

【地区補助金】

2013-14年度からの地区補助金は、2012-13年度までの地区補助金と日本語訳は同じですが、別のプロジェクトです。相違点を一覧にしたものです。

項目	今年度から地区補助金(District Grant)	昨年度まで地区補助金(District Simplified Grant)
申請方法	オンラインで「使用計画、銀行口座情報等」を提出	書面で「申請総額と銀行口座情報等」を提出
申請時期	前年度7月1日から実施年度5月15日	前年度と実施年度の7月1日から3月31日
報告時期	補助金配分後	プロジェクト完了後
報告期限	支払から1年または完了後2ヵ月以内に最終報告	支払から1年毎に中間報告全プロジェクト完了後2ヵ月以内に最終報告
報告書類	オンラインで「実際の配分額と通帳の写し」を提出	書面で「地区の概要報告書、個別プロジェクトの完了報告書、通帳の写し」を提出
支払い条件	前年度の地区補助金がCLOSEDしていること	前年度の地区補助金の50%以上の報告が受理されていること。
資金	DDFの50%が上限(3年前の寄付額による)	DDFの20%が上限(3年前の寄付額による)
用途	奨学金など教育的分野にも利用可能	人道的プロジェクト

* 寄付はどのようなのですか？

1. 年次基金は、3年間据置され、財団活動資金として、運用益は財団運営費として使用されます。寄付は、ポール・ハリス・フェロー 認証の対象となります。地元や海外で実施されるロータリー財団の幅広い活動を支援する主な資金源で、シェア・システムを通じて、ロータリー財団への寄付は、世界と人々の生活をより良くするための補助金となります。50%が国際財団活動資金(WF)、50%が地区財団活動資金(DDF)として使用されます。
2. ポリオ・プラス基金は、ポリオのない世界のため、ロータリーのポリオ撲滅活動につかわれます。寄付は、ポール・ハリス・フェロー 認証の対象となります。
3. 恒久基金は、ロータリー財団の確かな明日を築くためのものです。恒久基金はロータリー平和センターも支援しています。寄付は、ベネファクター 認証の対象となります。恒久基金に寄せられた寄付は、恒久的に保存されます。この基金の投資収益の一部は、財団の確かな明日を築くために、年次プログラム基金を補い、ロータリーの最優先活動の支援に役立てられます。
4. ロータリー平和センターでは、未来のリーダーが、紛争予防や解決に必要な研修を受け、専門的な経験を積む機会を提供しています。平和な世界を築くため、寄付(1回限り、または自動定期寄付)をお寄せください。
5. 財団から承認された特定のプロジェクトに現金を寄付することができます。寄付の際には補助金番号が必要となります。寄付は補助金プロジェクトに送られます。

世界インターアクト週間にあたって

インターアクト委員会 委員長

松井隆雄 (大阪天王寺RC)



11月が「世界インターアクト週間」であることをご存じのロータリアンが当地区に何人おられるでしょう。

R Iの常設プログラムではありますが、当地区には現在インターアクト提唱ロータリークラブは6クラブしかありません。すべてのクラブと地区は青少年の基本的ニーズである健康・人間の価値・教育・自己開発を支援するためのプロジェクトに着手するよう奨励されています。インターアクトは自己開発のプログラムであります。

インターアクターは世界中の109ヶ国地域に10,700以上のクラブに所属する約20万人がいます。

1962年11月5日アメリカ・フロリダ州メルボルンRCの提唱により、メルボルン高校に世界最初のインターアクトクラブが結成されました。その創立記念日を祝い、11月5日の週を「世界インターアクト週間」と指定されました。この週はインターアクトクラブの地域社会への貢献を多くの人々に知ってもらおう機会にしたいと期待されています。

日本最初のインターアクトクラブは1963年6月27日に宮城県の仙台東ロータリークラブの提唱で仙台育英学園高校インターアクトクラブが結成されました。現在日本には約537クラブに約15,000人のインターアクターが所属しております。

当地区のインターアクトクラブは学校を基盤として学校の規律と方針に従い課外活動の一環として運営されています。

インターアクトクラブは奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神をもちともに活動する機会を提供することです。そして少なくとも毎年2つの社会奉仕のプロジェクトを行い、そのうち1つは国際理解と親善を推進するものでなければならないとロータリー章典に定められています。

当地区のインターアクトクラブは大阪桐蔭(提唱クラブ:大東RC)、浪速(大阪帝塚山RC)、金光八尾(八尾RC)、四天王寺(大阪天王寺RC)、清風(大阪南RC)、相愛学園(大阪RC)の6校がそれぞれ地域の奉仕活動をしております。

6校のインターアクトクラブが合同で行うプログラムは海外研修、年次大会、新入生歓迎会と機関紙SCRUMUの発行があります。本年の海外研修は8月4日～8日まで現地3泊5日の行程でR I第3350地区タイ・バンコクを訪問しました。

参加者は6校のインターアクター 30名、顧問の先生7名、ロータリアン13名、ガバナー事務所事務局長、看護師、合計52名でした。タイ・バンコクのシビリヨンハイスクールで熱烈的な歓迎を受け、同校インターアクターとの交流会で第3350地区のロータリアンを交え、国際交流・国際親善を図ることができました。

今年度のインターアクト年次大会は、四天王寺高校・中学インターアクトクラブが担当し、11月23日(土) 勤労感謝の日に開催予定です。

青少年交換委員会 来日学生一泊研修 2地区(D2660・D2680)合同オリエンテーション

青少年交換委員会 委員

松岡一郎 (大阪RC)

日 時：2013年9月21日(土)～22日(日) 1泊2日

場 所：パナソニックリゾート大阪・インスタントラーメン発明記念館・大阪万博記念公園

参加者：第2660地区 来日学生5名、青少年交換委員会他、地区関係者25名

第2680地区 来日学生5名、青少年交換委員会他、地区関係者18名

日本からの派遣学生との交換で毎年8月、海外より青少年交換学生が来日します。国籍も生活習慣も違う学生達、本年もフランス、メキシコ、ブラジル、アメリカ、カナダなどの学生が来日しました。

来日後すぐの慣れない日本の学校生活、ホストファミリーとのホームステイの生活も1ヶ月の間にいろいろな問題が起こってきます。そこで来日後、1ヶ月の早い時期に、問題があった場合も皆で知恵を出し合って青少年交換プログラムを成功へ導きたいとの目的で6年前から他地区との合同オリエンテーションが開催されています。

例年この一泊研修は、日本文化に少しでも触れていたかどうかとの志向もあり、1日目のスタートは、大阪府池田市にある「インスタントラーメン発明記念館」を見学、日本が誇る世界的な発明品であるインスタントラーメン製造の体験をしました。見学後、ロータリー関係者の自家用車に分乗して、宿泊先である「パナソニックリゾート大阪」に向かいました。

到着後、和室、畳の部屋を利用して、「合気道の体験」をしていただきました。

来日学生の中には、合気道を熱心に習得しようとする学生もあり、様々な関節技などを覚えているようで日本の伝統武術は、海外学生にも関心や興味があることだと

ということがわかりました。

合気道体験の後、来日学生にも意外にも評判がよかった大浴場でのお風呂に入り、食事の後、再び和室に集合しROTEXのメンバーとの意見交換、オリエンテーション、青少年交換委員会を開催、21時に解散し1日目の行事は、終了しました。

2日目は、朝9時半にロビーに集合して、参加RC会員の自家用車に分乗、大阪万博記念公園に向かいました。到着後、公園内を散策、レストランでの昼食、国立民族博物館を見学し、最後に参加者全員で集合写真を撮って解散。来日学生は、それぞれのホームステイ先へ戻っていただきました。

2日間共に、晴天に恵まれ無事に一泊研修を終えることができ、この一泊研修は、第2680地区と第2660地区のRC関係者との友好の機会の場合でもあったことも認識しました。

研修が習慣も言葉も違う来日学生とRC関係者間の円滑なコミュニケーションの一助となり、これから楽しい時間をともに過ごし、今後の日本での生活が人生の有意義な時間になることを願います。

最後にご尽力いただきました。辻村委員長、青少年交換委員会の皆様、ホストファミリー、ROTEX、ガバナー事務所、関係者の皆様ありがとうございました。



[ガバナー補佐からのメッセージ] IMの将来について

IM第2組 ガバナー補佐

井上義信 (吹田RC)



現在のIMは講演会形式が多い。テーマはロータリーの一のことに限らず、一般社会で話題性のあるものなら、良いとされている。ただ区内の会員の親睦も重要な目的なので、その配慮も必要だ。

第2組の前期の事例からいくつか気になったことがある。一つは出席に関することである。会員数448名で当日出席者は201名・出席率44.8%であり、事前にクラブから出席と連絡を受けた会員、つまり登録者数308名に対し当日出席者は201名だから予備登録者に対して出席率65%である。107名の誤差がある。これでは会場の設営や運営をしていただくホストクラブに

大変な迷惑を掛けることになる。ロータリアンは心したい。

今後のIMについても課題はある。その一つは現在、出席者率を上げるためか、有名講師を迎える傾向が強い。有名講師なら謝礼も80万円、90万円と高額だ。謝礼をもっと抑えて、僅かでも幸せの灯を灯す奉仕活動に回せないものか。

二つ目はIMに対する地区の関与である。運営の独自性は尊重すべきだが、ホストクラブに依存し過ぎていないだろうか。IMの在り方について地区の課題として、今後の検討が待たれる。

我がクラブの目指すところ (IM第2組)

茨木RC 会長

土手基史

戦後復興期を経て、クラブ数が急増を始めた元年とも言える昭和34年茨木ロータリークラブは誕生しました。テレビCMで大きいことはいいこととか、隣の車が小さくみえるとかは少し後年のことになりましたが、高度成長の高揚感が見られ始める時期だったと想像できます。

55周年を2014年に控えた今、永く続くことはいいことだ、をキーワードに据えていきたいと思います。今年度のクラブ方針の一つにも、「クラブを50年余維持して

きた先人の知恵に学ぶ」ことを掲げています。また会長の時間も私自身への学習ノルマとして今に語り継がれる主だったRCの先輩の事績を辿ることにしています。

永く続けているということは、企業をはじめとしてその団体が社会からのニーズに応えてきたという評価・ご褒美だと思います。

いい人材の増強を進め、将来の持続可能性をさらに高めたいと願っています。

茨木東RC 会長

木本誠一

茨木東ロータリークラブは本年度で40周年を迎えます。そこでこの茨木東ロータリークラブを創ったチャーターメンバー達の思いを振り返ってみました。

現在、チャーターメンバーは一人もクラブには残っていませんが、我々のクラブの長年積み上げ、守ってきた個性として受け継がれています。それは「和」「素朴」「純

真」の心です。

40周年でこの心をあらためて確認し、又、新しい時代に合ったロータリー活動も構築していかなばなりません。

会員一同和やかな中にも元気あふれるロータリークラブを目指していきます。

茨木西RC 会長

橋本善治

ロータリアンの基本として職業奉仕を大切に、会員一人一人が自らの事業に高い倫理性を求め、よい仕事をし社会に貢献すること、そして地域社会に貢献するクラブとする。

会員の長年の事業活動を通じてのみ得られる知恵・知恵とロータリーにおける職業奉仕に照らして得られることを会員各自が若い人に伝え広めること。家族、社

員、知人へロータリーの思想を広めることが重要であると考え。また、クラブの独自性を堅持しながらも地区や他クラブと協力し、ロータリー活動の成果を高めるようにする。そしてメンバーと会員家族がロータリーを楽しめるクラブとなることを目指す。

当クラブは本年度創立20周年を迎えるが、クラブの成熟はこれからです。

千里RC 会長

上橋芳雄

千里ロータリークラブは、昨年度40周年を迎え、さらに成熟したクラブになりました。しかし、会員数の減少や高齢化等課題も多く、今年度はじっくりと腰を据え会員一丸となって、この問題に取り組んでいます。

会員増強に関しては、金子委員長を中心に昨年度40周年の記念事業として、オープン例会を4回開催した際に参加していただいた方々をリストアップし、今年度の我がクラブの目玉である音楽例会にお招きし、さらに交流を深めることによって、入会のきっかけになるように

会員全員で努力しています。また、現状のロータリークラブの認知度の低さを少しでも打破するために、社会奉仕委員会の活動として、一般市民向けに（認知症予防について）の講演会を開催し、ロータリークラブの認知度を上げると共に存在意義をPRしたいと思っています。

その他、今年度の主な目標は、3年目を迎えるベトナムの子供たちの識字率向上プログラムをひき続き実施すること、そして東日本大震災復興支援にも出来る限り協力する事等で社会に貢献したいと考えています。

千里メイプルRC 会長

藤田芳浩

千里メイプルロータリークラブは、1998年6月13日に創立し、RI承認日は、1998年6月24日です。

本年6月25日には創立15周年記念例会を開催致しました。創立時の会員数が27名、その後3年目に31名となりましたが、現在は、会員数22名のクラブです。

第2660地区の中でも少人数のクラブですが、本年5月に第2660地区の各クラブ様のご協力を得て、ホストクラブとしてライラを開催致しました。この経験は、我がクラブにとって得難い財産となり、クラブ全体が一体感を持ち知恵を絞り互いに協力し、全員参加で実りあるライラを開催出来ました。

我がクラブの目指すところは、真に全員参加・全員協力です。しかしこれを達成するためには、日頃の例会が

大切です。

会員相互に敬意と友情を持ち、品位と礼節を尊びユーモアに溢れている、そんな例会を積み重ねることによってしか、この一体感は生まれてこないと思います。もちろん現状を満足しているわけではなく、千里メイプルロータリークラブを理解し親近感をもって頂く方の入会を積極的に活動して、同志をもっと増やさなければならぬのです。そうすれば、より内容のある、幅広い奉仕活動が実現できるのです。

これからも従来の例会とは趣の違う例会を企画し、会員の知人・友人の皆様に参加頂き、我がクラブへの理解と親近感を深め、入会したいと思われるクラブ作りを、全員参加・全員協力で目指していきたいと思っています。

摂津RC 会長

飯室正樹

電車・バス等に優先座席が設けていますが、実際殆ど機能していない様に思います。確かに立っている人が少ない時は、優先座席は空いていますが少し混んで来ると、優先座席も満席に成る。

先日私が天下茶屋始発の阪急電車に乗って摂津市駅に行く時、始発なもので空気で、私は車両の真ん中に座って出発するのを待っていると、母親が小学生2・3年位の男の子を連れて入ってきた時、その子供が端の優先座席の方へ行こうとしたら、母親は「そこは駄目」と云って違う席に座らせて、説明していた様でした。

確かに殆どの方は分かっておられるが、混んで来ると止むを得ない、自分一人だけ頑張ってもしょうがない。何かの切っ掛けが無いと出来るものではないでしょうか。

ここで提案なんですけど、優先座席は「一席」だけ空席を設ける運動を根気よくしていけば、やがては年寄りも安心して電車に乗れるのでは無いでしょうか。一個人がするには限度があります。

第2660地区の皆さんと一緒に声を上げれば、いずれ良い世の中に成るのでは無いでしょうか。

吹田RC 会長

平山直樹

私は、吹田ロータリークラブ第55代目の会長であります。私が入会した当時、伝統と格式を重んずるクラブに相応しい先輩方に例会時、お会いする度に自分の人生経験のなさ知識のなさに、身の縮むおもいをしたことを昨日の事のように思い出します。

強烈な印象として今でも鮮明に覚えているのですが、ある例会時会長が挨拶をしている最中にあるテーブルの会員仲間がべちゃくちゃ喋っていますとある大先輩が「黙らっしゃい」と一喝されたのであります。会員数

が減る傾向にある昨今、会員数を減らさないためにも、会員数を増やすためにも、どうしても楽しい雰囲気の例会を求めてしまいがちです。

しかし、それでロータリークラブの存在価値を持ち続けることができるのでしょうか。

ロータリークラブの会員は、それぞれの職業において功を遂げ名を成した人たちのはずです。楽しい例会の中にも規律・礼儀・道徳を重んずるクラブをこれからも目指さなければと考えます。

吹田江坂RC 会長

西山俊明

私どものクラブは、1990年2月に創立され、次年度に25周年を迎えます。現在の会員数は34名です。

クラブの特徴として、毎回の例会開始時に、会員相互

の再会を祝して相互に握手を行い、心を和らげて例会が始まります。また、第2660地区内で、女性会員第一号が誕生しており、毎回の例会で彼女の美声を聞くことも

楽しみになっています。更に、大学RACも地区で初めての創立で、クラブとの交流も年々深まっています。情報集会やハイキング同好会等も工夫を重ね、一層親睦を深めることに貢献しています。

ただ、会員数が減少傾向にあり、それに伴ってクラブの財政状態も年々厳しい状況になっています。新会員の増強が不可欠であることから、会員増強特別委員会を設置して具体的な対策を検討しながら、会員の増強意識をしっかりと持っていただくよう努力しています。

吹田西RC 会長

石崎克弘

ロータリーの本質はクラブです。各々クラブには歴史背景があります。10年前、また前年度と同じであれば何も改革ができない、社会から乖離してしまう。だからクラブの状況を把握して目標を考えなくてはなりません。

そこで私は、基本テーマ「クラブの伝統を継承し、改革への挑戦」のもと、クラブの伝統、すなわち土台を変えることなくロータリーの価値観に従い地域社会にこれらの価値観を広めるクラブ改革を敢行していかなくてはならないと思います。

会員増強は重点課題ではありますが、2010年、新世代奉仕(2013年規定審議会で青少年奉仕に変更)が五

クラブの目指すところとしては、地域との交流を深め、地域の奉仕に貢献したいと考えています。そのため、地域の奉仕活動を実践されているリーダーを卓話にお招きして、具体的なお話をお聞きして、会員の意識を高めています。

また、地元関西大学RACとの交流も年々深まり、今後、共同して地域の奉仕活動を実施するなどして、ロータリークラブへの理解を深めてもらい、他方で若い世代の育成にも力を入れていきたいと考えています。

大奉仕部門に位置づけられたことから、ロータリーの奉仕の理想を青少年と理解し合うことを目指さなければならぬと感じました。

我がクラブは本年度より新世代奉仕部門を組み入れました。ローターアクト、インターアクト、RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)、青少年交換などのプログラムは、新世代奉仕の重要な部分といえます。若いリーダーを育成し新会員として迎えることにより、地域社会をより良くしロータリーの未来が開かれていくと確信します。

「感動の体験を！人々にも、自身にも」

～参加し、敢行せよ～

高槻RC 会長

川面智義

学校教育にない教育支援として市内各公立高等学校から意欲溢れる推薦学生延べ200人を対象に課外学習として「高槻未来塾」の開講準備をしています。

このプロジェクトは、教育委員会・6校長様が目指したい教育理念と当RCが掲げる「日本の心の文化と新世

代の育成」～文化の担い手となる地域社会づくり～のコンセプト、とが一致し、スタートした事業です。

お蔭様で私達は、2014年6月15日に創立60周年を迎えます。高槻の文化と伝統の中で先輩諸氏が培われてこられた実績を顧み、会員一同、記念事業の成功に向

け新たな気持で取り組んでいます。

もう一つの目指すところは、クラブの事業計画やクラブ活性化・積極的寄付には活動基金が必要ですし、なくては何事も成しえません。将来を見据えても基金つ

くりは大切な活動です。各会員の寄付に対する意識革命の啓蒙と理解でこれも順調に推移していると判断しています。

高槻東RC 会長

高岸久典

高槻東ロータリークラブは昨年度において「台湾南徳RC」及び福島県「須賀川RC」と姉妹クラブ締結を行いました。

我がクラブの目指す処と致しましては、今後「台湾南徳RC」との関係を深め、国際平和に貢献すべく、また「須賀川RC」との関係につきましては、遅々として進まない東日本大震災の復興に少しでも貢献するために全力を注ぎたいと考えております。

国際奉仕に関しましても、カンボジア医療支援を行っております。

しかしながら、現下の状況を鑑みれば、会員減少が、今後の目標達成に大きな足かせになって参るのではないかと危惧される次第であります。

当クラブでは、37名の会員ですが、平均年齢もみましても65.86才となっており、現在、各プロジェクトを遂行されておられるのは、ごく限られた会員であり、次代を背負う若い世代を養成しなければ各プロジェクトとも頓挫しかねない状況であります。

その為、会員増強・若手の育成が喫緊の課題と考えられる次第であります。

高槻西RC 会長

森本 茂

1989年6月15日に創立。国際ロータリー第2660地区所属となり、本年で25周年を迎えます。

当初より親睦を重視し、地域社会への思いやりを大切にしつつ、ロータリー精神「超我の奉仕」の基、奉仕活動を行っています。

創立来、青少年交換事業「派遣、受入れ」を中心に、文化講演会・女性の為の健康教室・ゲートボール大会・

老人ホーム慰問・座禅とお茶会等々、クラブは地域に根ざした活動を心掛け、事業展開しています。

この25周年を機に30周年・50周年に向けて更なる推進を行い、青少年交換プログラムを軸とし、小さな子ども達から高齢者の方々を対象とした「新たなる高槻西ロータリークラブの支援活動」を確立することを指標と致します。

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー・ノミニー指名宣言

第2660地区 ガバナー・ノミニー候補者の指名

地区ガバナー指名委員会の規約に基づき、当指名委員会において慎重審議の結果、大阪RC会員、立野純三氏を2015-2016年度国際ロータリー第2660地区ガバナー候補者として指名することに決定いたしました。

2012-2013年度ガバナー月信8月号において、地区内各クラブに対し、国際ロータリー細則第13条及び当地区ガバナー指名委員会規約により候補者の推薦をお願いしましたところ1件、大阪RCより立野純三氏の推薦がありましたが、ガバナー・ノミニーの資格条件の一つであるRI細則第15.070.3項(クラブ会長の任務を1年間全うしていること)に抵触しておりましたが、過日、RI会長、RI理事会よりこの件を免除するロン・バートン会長のサインをもって、承認されました。

ここに国際ロータリー細則第13条に基づき、当指名委員会により選出された同氏を上記年度のガバナー候補者として指名いたします。

2012-2013年度
地区ガバナー指名委員会

第2660地区 ガバナー・ノミニー指名宣言

国際ロータリー細則第13条の規定に基づき、大阪RC会員、立野純三氏を2015-2016年度国際ロータリー第2660地区ガバナー候補として宣言します。

2013年10月

国際ロータリー第2660地区
2013-2014年度
ガバナー 福家 宏

立野純三(たてのじゅんぞう)氏の略歴

生年月日 1947年 3月 8日 (66歳)

勤務先 株式会社 ユニオン

経 歴 1970年 甲南大学 法学部 卒業
1973年 株式会社 ユニオン
1990年 株式会社 ユニオン 代表取締役社長 就任

職業分類 金物製造

ロータリー歴 1989年 大阪ロータリークラブ 入会
1993年度 ローターアクト委員会 委員長
1996年度 クラブ幹事
2001年度 地区代表幹事
2004年度 プログラム委員会 委員長
2005年度 ロータリー財団委員会 委員長・理事
2008年度 社会奉仕委員会 委員長・理事
2010年度 会員増強委員会 委員長
2013年度 会長

その他 ベネファクター



災害支援プロジェクト報告 (第29回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 「インド北部大洪水支援金」の送金が終了

本年6月に発生致しました「インド北部大洪水」に対しまして、地区内各クラブに支援金をお願い致しましたところ、8クラブから総額276,200円の浄財を頂戴致しました。早速、インド(RID3060)・Vapi RC(元RI会長 カロヤン・バナジー氏所属クラブ)にコンタクトをとり、送金の意思を伝えました。

しかし、数回の当方からの連絡に対して返信が全くございません。その他、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)へも連絡をとりましたが、インドへの送金の困難さを指摘されました。そこで、最終的に日本赤十字社のインド洪水災害救援金募集窓口を通じて支援金を送付(平成25年10月4日)致しました。

改めまして、ご支援を戴きました各クラブに心から感謝申し上げますとともに、前述のように送金に手間取り、またご報告が遅れましたことをお詫び申し上げます。

支援金ご協力ロータリークラブ

大阪・大東中央・香里園・門真・大阪フレンド・守口イブニング・大阪うつぼ・東大阪東(支援金入金順)

2. 震災支援の報告

東大阪東RC

I. プロジェクト概要

プロジェクト名：宮城県南三陸町平成の森仮設住宅支援事業

実施場所：宮城県南三陸町平成の森仮設住宅

実施期間：2013年9月～2016年8月(3か年)

受益者：平成の森仮設住宅住民 216世帯 561人(南三陸町歌津地区住民)

概略：自治会を通しての軽トラック貸与(3年間)

仮設住宅住民がガソリン代だけで利用できる車両として、新古の軽トラックを近隣の自動車会社を通してメンテナンスリースする。仮設住宅の解散までの3年間を対象とする。

大阪御堂筋本町RC

※2013-2014年度より提唱ロータリー／大阪御堂筋本町RCの方との10年かけた長期プロジェクト「東北支援事業」がスタート。大阪御堂筋本町RCとの合同支援事業です！

I. プロジェクト概要

プロジェクト名：大阪御堂筋本町ローターアクト 東北支援プロジェクト

実施場所：宮城県伊具郡丸森町の塩田

実施期間：2013年9月20日～2013年9月22日

受益者：宮城県伊具郡丸森町の被災農家

概略：東北学院大学の災害ボランティアステーションと共同で「東北コットンプロジェクト」にて塩害があった田んぼを再生する。

これは、津波により稲作が困難となった農地で被災した農家が綿を栽培、紡績から商品化・販売を参加各社が共同で展開する、農業から震災復興を目指すプロジェクトです。当プロジェクトをきっかけに被災地とのつながりを作り、次年度以降の活動に活かしていく。

3. 第2660地区 東日本震災復興支援基金（地区基金）の申請と寄付

地区内クラブは、東日本の復旧・復興の為に活動やプロジェクトの為に、第2660地区基金を申請することができます。同基金は、地区内各クラブから拠出された寄付金を原資としており、同基金への寄付も同時に募集しております。

【地区基金の申請方法】

申請資格：2013年7月以降、表題基金に寄付をしたクラブ

受付期間：2013年9月～基金枯渇まで随時

対象プロジェクト：東日本大震災の災害復興支援を目的とし、クラブ拠出金が20万円以上のプロジェクト

申請方法：申請書・見積書を第2660地区災害支援プロジェクトまで提出

補助金額：20～50万円/件（但し、クラブ拠出額に対し同額補助）

審査期間：約1週間

報告書：少なくとも6か月ごとに報告書を提出

最終報告書（領収書コピー添付要）は、プロジェクト終了後1か月以内に提出（写真は任意）

その他：①原則クラブが申請できる回数は年度内1回です

②複数クラブで合同申請の場合は、代表クラブの拠出金に同額補助

③ロータリアンは、補助金の受給者にはなれません（交通費や宿泊費等）

④原則、継続事業には申請できません

⑤出来るだけ、ガバナー月信に活動紹介記事や写真を投稿下さい

【地区基金への寄付】

寄付額：会員一人あたり2,000円以上、または各クラブ5万円以上

寄付受付：随時

振込先：りそな銀行 大阪営業部 普通1527285

（口座名） 第2660災害支援 会計 片岡 基博（タニロカケロサイガイシンカケイカホモトコ）

4. 災害支援地区基金の状況（2013年9月18日～10月17日）

【収入】

（単位：円）

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
1	前年度からの繰越	2,591,875	
2	大阪アーバンRC	50,000	基金
3	茨木西RC	56,000	基金
4	くずはRC	100,000	基金
5	大阪平野RC	64,000	基金
6	大阪北RC	270,000	基金
7	大阪天王寺RC	116,000	基金
8	大阪御堂筋本町RC	120,000	基金
9	大阪梅田RC	51,500	基金
10	香里園RC	50,000	基金
11	千里RC	65,000	基金
12	池田RC	50,000	基金
13	茨木東RC	50,000	基金

14	守ロイブニングRC	50,749	基金
15	千里メイプルRC	66,000	基金
16	真柄志津様(大阪イブニングRC会員ご親戚)	11,000	基金
17	大阪西南RC	200,000	基金
18	大阪天満橋RC	50,000	基金
合 計		4,012,124	

【支 出】

(単位:円)

	地区基金支出内容	金 額	備 考
1	インド復興基金送金・日本赤十字社	276,200	
2	振込手数料	400	
合 計		276,600	

【残 高】

(単位:円)

預金残高	3,735,524	2013年10月17日現在
------	------------------	---------------

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2013年 8月末	全国寄付金合計額 ……………	288,331,153円	(前年度比470万円増)
	第2660地区寄付金合計額 ……………	13,216,950円	(前年度比11.78%増)
	全国寄付合計トップ10		
		1. 第2750地区	21,000,652円
		2. 第2770地区	20,854,000円
		3. 第2760地区	17,859,800円
		4. 第2650地区	16,655,783円
		5. 第2580地区	14,939,850円
		6. 第2590地区	14,231,500円
		7. 第2660地区	13,216,950円
		8. 第2790地区	12,116,700円
		9. 第2690地区	11,432,205円
		10. 第2710地区	10,964,800円

米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2013年8月)

氏名	回数	クラブ名
村上 泰啓	1回目	大阪城南RC
弓手 宏亮	1回目	東大阪西RC
川上 卓男	3回目	東大阪西RC
藤原 史嗣	3回目	東大阪西RC
石崎 義公	3回目	東大阪西RC
広田 甫	3回目	東大阪東RC
澤村 榮一	1回目	豊中千里RC

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2013年8月)

氏名	クラブ名
秀浦 宣夫	東大阪西RC
岸上 好廣	大阪なにわRC
小山 登	大阪西北RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2013年8月)

氏名	回数	クラブ名
松川 雅典	1回目	新大阪RC
松井 素子	3回目	大阪リバーサイドRC
川上 卓男	1回目	東大阪西RC
嶋田 亘	2回目	東大阪西RC
宇野 能史	5回目	大阪イブニングRC

ベネファクター 次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2013年8月)

氏名	クラブ名
塩谷 眞治	大阪東RC

2013年9月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	9月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第1組	池田	37	37	2	0	0	0	4	76.43	70.72
	池田くれは	28	29	1	1	0	1	3	87.31	87.31
	箕面	25	25	1	0	0	0	4	91.38	75.26
	箕面千里中央	21	22	0	1	0	1	4	86.00	86.00
	豊中	45	45	4	1	1	0	4	83.99	72.53
	豊中南	28	29	2	1	0	1	4	86.44	83.38
	豊中-大阪国際空港	20	21	0	1	0	1	4	63.75	56.25
	豊中千里	39	39	3	0	0	0	4	87.79	77.16
	小計	243	247	13	5	1	4		82.89	76.08
	I M 第2組	茨木	25	26	3	1	0	1	4	88.83
茨木東		39	41	4	2	0	2	4	82.89	71.70
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	92.86	79.46
千里		38	38	0	0	0	0	4	90.13	81.77
千里メイプル		22	21	2	0	1	-1	4	98.75	92.50
摂津		37	37	2	0	0	0	4	87.07	68.33
吹田		60	61	10	2	1	1	4	95.59	89.38
吹田江坂		34	34	2	0	0	0	3	94.72	84.17
吹田西		47	48	2	1	0	1	3	100.00	95.24
小計		437	441	38	7	3	4		92.60	83.98
I M 第3組	大東	42	43	0	1	0	1	3	100.00	94.59
	大東中央	28	28	11	0	0	0	3	77.20	71.90
	枚方	40	44	0	4	0	4	4	84.62	79.49
	門真	30	32	6	3	1	2	4	82.82	71.88
	交野	32	32	1	0	0	0	4	84.41	80.38
	香里園	15	16	0	1	0	1	4	88.75	84.06
	くずは	52	54	0	2	0	2	4	77.37	68.80
	守口	42	42	4	0	0	0	4	85.63	78.32
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	82.41	77.78
	小計	362	372	31	11	1	10		86.60	80.43
I M 第4組	東大阪	70	72	0	2	0	2	4	87.15	71.93
	東大阪中央	33	33	0	0	0	0	3	93.14	89.72
	東大阪東	55	58	4	3	0	3	3	88.65	78.73
	東大阪みどり	30	30	1	0	0	0	4	76.67	73.33
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	3	96.42	77.32
	大阪柏原	30	31	2	1	0	1	3	90.78	89.54
	大阪ネクスト	19	19	8	0	0	0	4	69.74	48.69
	八尾	60	61	0	2	1	1	4	76.44	74.08
	八尾中央	16	17	1	1	0	1	4	79.43	77.96
	小計	370	379	17	10	1	9		83.67	75.33

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	9月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	49	5	3	0	3	4	93.88	82.47
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	3	90.00	82.22
	大阪北	197	198	0	5	4	1	4	77.25	65.06
	大阪北梅田	50	52	3	2	0	2	3	81.82	69.48
	大阪西	75	76	0	1	0	1	3	89.85	85.67
	大阪大淀	36	37	0	1	0	1	4	89.31	83.21
	大阪リバーサイド	34	36	7	2	0	2	4	97.71	78.76
	大阪西北	49	52	0	3	0	3	4	89.58	77.07
	大阪そねざき	35	35	22	0	0	0	4	94.78	78.69
	小計	632	651	44	24	5	19		88.80	76.97
I M 第6組	大阪	257	263	1	8	2	6	4	75.26	60.88
	大阪東	117	116	0	1	2	-1	4	94.88	76.91
	大阪東淀ちゃやまち	30	30	3	0	0	0	3	80.30	72.73
	大阪城東	43	42	5	0	1	-1	4	87.27	78.94
	大阪中之島	27	27	1	0	0	0	4	90.73	73.14
	大阪大手前	35	36	4	1	0	1	4	87.50	68.96
	大阪城北	49	49	3	0	0	0	4	75.19	74.48
	大阪天満橋	68	67	0	1	2	-1	4	84.55	80.77
	大阪鶴見	32	32	0	0	0	0	4	88.13	84.74
	小計	718	724	21	15	9	6		85.83	76.32
I M 第7組	大阪フレンド	25	26	3	1	0	1	4	91.00	77.00
	大阪御堂筋本町	61	60	3	0	1	-1	4	80.53	70.91
	大阪南	144	157	0	14	1	13	4	88.09	74.87
	大阪難波	46	50	0	4	0	4	4	93.42	84.13
	大阪なにわ	25	26	3	1	0	1	4	94.91	82.82
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	4	85.17	71.80
	大阪西南	98	99	19	1	0	1	4	91.98	73.23
	大阪船場	39	39	0	0	0	0	4	93.50	81.25
	大阪心斎橋	33	33	0	0	0	0	4	99.24	82.60
	小計	519	539	35	22	2	20		91.21	78.18
I M 第8組	大阪平野	32	32	3	1	1	0	4	99.17	89.05
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	4	80.08	72.53
	大阪城南	53	55	0	2	0	2	4	98.05	89.71
	大阪咲洲	18	19	1	1	0	1	4	78.95	65.79
	大阪天王寺	56	58	0	2	0	2	4	83.57	75.71
	大阪帝塚山	53	55	4	2	0	2	4	75.69	70.57
	大阪東南	50	50	0	0	0	0	5	92.00	56.40
	大阪アーバン	23	25	7	3	1	2	4	87.00	85.00
	大阪みおつくし	34	34	17	1	1	0	4	71.32	68.38
	小計	333	342	35	12	3	9		85.09	74.79

合計	クラブ名	7月期初 会員数	9月末 会員数	女性 会員数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3614	3695	234	106	25	81	87.1	77.8

文庫通信 (313号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー最近の文献より

- 「われらは地球の相乗り客」
ジョージ・ミーンズ 1970 1p (D.365月信)
- 「どこに差があるか？」
ジェームズ・コンウェイ 1970 1p (D.365月信)
- 「ロータリーの魅力は童心と微笑」
塚本義隆 1970 1p (D.365月信)
- 「ホームクラブへ出席がなぜ大切」
塚本義隆 1970 1p (D.365月信)
- 「ロータリーの目的は4つある？」
本田博己 2013 2p (D.2840月信)
- 「『奉仕の理想』ってどういう意味？ そして、『超私の奉仕』とはどういう関係？」
本田博己 2013 4p (D.2840月信)
- 「職業奉仕とロータリーの魅力」
大迫三郎 2013 2p (D.2730月信)
- 「会員増強月間」
沖田哲義 2013 1p (D.2710月信)
- 「幹事心得10箇条」
岡村泰岳 2013 1p (D.2720地区協議会プログラム)
- 「ロータリー徽章に隠された秘密」
山本正治 2013 2p (ロータリーこぼれ話)
- 「国際貢献と二つの奉仕理念」
石井良昌 2013 9p (2680地区研修セミナー講演集)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

浅川正英 会員（大阪天満橋RC）

2013年 9月20日 逝去（享年73歳）

会長エレクト、理事、国際奉仕委員長、
友好委員長、出席委員長、米山奨学委員長

米山功労者（マルチプル）
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■例会場電話番号の訂正

大阪淀川ロータリークラブ

（誤）06-6433-1235 → （正）06-6344-1235

月信編集委員会からのおねがい

□ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX
またはE-mailにてお願い致します。
折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

□投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載
月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。
原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。
掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月
の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任
下さい。

□物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い
致します。

□今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・
事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を
設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には
有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきます
ので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ち
しております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

<http://www.ri2660.gr.jp/>

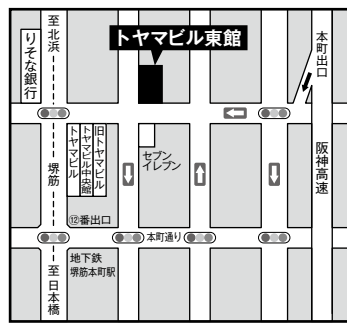
●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日

年末年始
2013年12月28日(土)~
2014年1月5日(日)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を
併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所まで
お問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

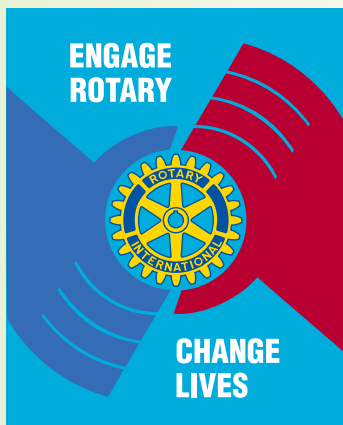
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp



ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を

感動の体験を!!

人々にも自身にも

Participate! 参加し、敢行しよう!!

2013-2014年度 国際ロータリー第2660地区

地区大会

第1日目

2014年

2月21日 金

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

開会式 <5階メインホール> 14:00 開会
合同研修会 <5階メインホール> 15:10 開会

リーガロイヤルホテル

家族の集い <2階ペリドットの間> 15:30 開会
RI会長代理御夫妻歓迎晩餐会 <光琳の間> 18:00 開宴

第2日目

2014年

2月22日 土

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

本会議 <5階メインホール> 13:00 開会
特別講演 <5階メインホール> 15:30 開会



「日本の進路と誇りある国づくり」
櫻井よしこ氏

ジャーナリスト、国家基本問題研究所理事長。
クリスチャンサイエンスモニター紙 東京支局の助手として
ジャーナリズムの仕事を始め、アジア新聞財団 DEPTH NEWS
記者、東京支局長、NTVニュースキャスターを経て、現在に
至る。
2007年にシンクタンク、国家基本問題研究所を設立し、国
防、外交、憲法、教育、経済など幅広いテーマに関して日本の
長期戦略の構築に挑んでいる。